

会 議 録

1 会議名

令和元年度第12回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・五智歴史の里会館における休館日等の変更について

【自主的審議事項】

- ・直江津まちづくり構想について

3 開催日時

令和2年2月18日（火）午後6時00分から午後7時15分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 青山恭造（会長）、竹内明美（副会長）、増田和昭（副会長）、
青山義一、磯田一裕、伊藤邦雄、河野健一、久保田幸正、坂井芳美、
田村雅春、中澤武志、町屋隆之、丸山朝安、水澤敏夫（欠席4名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、霜越臨時職員
施設経営管理室：丸田副室長、小田主事

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青山恭造会長】

- ・挨拶

- ・会議録の確認：丸山委員、水澤委員に依頼

議題【報告事項】五智歴史の里会館における休館日等の変更について、施設経営管理室へ説明を求める。

【施設経営管理室：丸田副室長】

- ・挨拶

五智歴史の里会館は、平成19年4月に五智地区の豊かな自然及び歴史に触れる憩いの場、並びに地域における市民活動の場を提供するとともに市の観光情報等を広く紹介して、地域の活性化、或いは観光の振興を図るということを目的に設立をされ、年間約2万人前後の方々から利用していただいている。

- ・資料No.1「五智歴史の里会館における休館日等の変更について」に基づき説明

【青山恭造会長】

説明に対して、質問を求める。

【水澤委員】

資料の変更理由に「五智歴史の里協議会」とあるが、この構成メンバーを伺いたい。どのような目的でいつ設立されたのか。所在地や建物と土地の所有者はどうなっているのか。

また、資料に「光熱費、人件費の経費削減が見込める」とあるが、そこにどのような方々が働いていて、どのような運営で給料等を払っているのか。働いている方々は正社員なのか、パートなのか。

そして、「職場環境の改善に取り組む」とあるが、改善とはどの辺のことを言っているのか。

【施設経営管理室：丸田副室長】

施設は平成19年4月に設立した。住所は上越市国府1丁目18番28号であり、施設や土地は市の所有である。維持管理費用や借地料等はいただいている。

「五智歴史の里協議会」は、会長1名、副会長1名、理事8名、会計幹事2名、代表役員30名である。五智周辺の町内会の皆様が名を連ねていると承知している。

【水澤委員】

構成団体は第三セクターなのか。

【施設経営管理室：丸田副室長】

第三セクターではない。

【水澤委員】

団体は町内会長協議会のほかは、どこか。

【施設経営管理室：丸田副室長】

理事が誰かという質問でよろしいか。定例総会に参加した方々の名簿をいただいているだけであり、その方々がどういった所属なのかは承知していない。

【水澤委員】

私は、逆に個人名は必要ないと思う。どういった出身団体で構成しているかを知りたい。メンバーには町内会長もいると思うが、他の組織もあるのではないか。

【施設経営管理室：丸田副室長】

会からいただいた総会の資料の名簿によると、五智商工会や五智工友会、五智建築組合役員、国分寺等の名を連ねている。

事務局長の人事については、会の内情までは私どもで確認していない。現在の事務局長は平成30年度から勤務されている。

「職場環境を整える」ということだが、働き方改革関連法で正職員は年5日間の年休を取得することとなっている。その中でパート職員は該当しないが、事務局長が該当する。パート職員と調整しながら勤務を組んでいるが、休館日を作ることでパート職員から勤務していただく時間ができて、その分正職員も年休を取りやすい状況になるという説明を受けている。

私どもとして、利用実態も含めて、条例では休館日無しという状況だが、週に1回の休館日はあってもよろしいという判断をした。

【青山恭造会長】

他にないか。

【田村委員】

この施設は平成19年の設立だが、採算はとれたのか。

【施設経営管理室：丸田副室長】

こちらは収益施設ではないので採算というのは該当しない。

【田村委員】

建物自体は上越市だが、人件費や光熱費を払って、それ以外の部分で毎月经費として掛かる部分は採れているのか。

【施設経営管理室：丸田副室長】

採算を取る施設ではないので必要な経費は市が払う指定管理という方法を取っている
ので、維持管理費や収入を精査して休館日を設けたということは若干あるが、市として
は、運営している協議会の意向に沿ったという形である。市として経費を掛けないよう
にとということではない。

【丸山委員】

来年度以降、休館日を設けることで節約できた金額は差し引かれてしまうのか。差し
引かれてしまうと、町内で草刈りやイベント等を行っているが、運用資金がなくなって
しまう。

【施設経営管理室：丸田副室長】

金額については削減しない。平成30年度から令和2年度までは指定管理で協定も組
んでいる。全体として経費を削減した分は会として盛り上げるところで使ったりしてい
ただいて結構だと思っている。使い道については私どもも聞いていない。有効に活用し
ていただいて良いという判断で削減もしないし、休館日の関係についても了承したとこ
ろである。

【丸山委員】

令和3年度以降はどうなるのか。

【施設経営管理室：丸田副室長】

運営の実態に沿った形で次の期間を決めたり、内容を決めたりしていくが、その時に
例えば削減はしているが、そこに勤めている人の給料を上げないといけない等の問題が
出てくれば、それに併せてお願いする金額も決まってくるので、令和3年度以降につい
ては、現段階でお答えはできない。

【伊藤委員】

私が心配をしているのはパートの皆さんの勤務日数が減るわけだが、実際に減った場
合その人達の待遇は今後どうなるのかということである。また事務局長を採用するにあ
たり手当の問題もあると思う。

資料には「職場環境の改善」ということになっているが、どのような改善をされて収
支計算をやっておられるのかと思う。

現在、第6次行政改革の中で施設の再配置等を行っている最中で当施設もこのままで
良いのかと地元としても気にするところである。何とか地元とすれば大勢の集客をもっ
て何とか賑やかにしていきたいと考えている。現在、手作りの土産品も必死になって作

っているのにも応援をしているが、事務局長の手当の問題を考えると心配な面もある。

現状の施設において改善すべき点があれば、行政からも、もう少し目配りをしていただければと思っている。

そして、もう一つ大事なことは、今日、休館日について報告されて、今日報告したから承知してくださいということになるのかと正直心配している。この場に出た話を行政のほうでは会の理事会に伝えてまた何か参考にすることがあるのか。

【施設経営管理室：丸田副室長】

採算ということで参考に申し上げますと、お土産品については、毎年、100万円前後の売り上げがあると聞いている。皆さん、非常に頑張っていると思っている。

そして、地域協議会へ報告するタイミングについては、運営する側の内容をチラシやホームページでお知らせすることだけでなく、地域協議会の皆さんにもお伝えしていこうということで報告のお時間を作っていただいたということである。条例の変更や諮問等の案件だと皆さんから審議していただくことになるが、諮問するような内容ではないので、報告という形を取らせていただいた。

そして会の運営については、次の理事会で市が議題として挙げるということは少し違うと思うので、地域協議会内でこのようなお話があったということを経済歴史の里協議会に伝えたいと考えている。

【田村委員】

人件費は、新潟県の最低賃金ぎりぎりか。

【施設経営管理室：丸田副室長】

最低賃金を超えるような状況で作っていると思うが、最低賃金では人を雇えないということもあるだろうし、最低賃金でも良いということもあると思う。私どもはそれらを勘案しながら予算を組んで指定管理をお願いしているということになっている。

事務局長の人事や待遇等までは把握していないが、私どもとすれば、会の事務局の報告を「分かりました。よろしくお願ひします」というやりとりで対応させていただいている。

【伊藤委員】

すでに経済歴史の里会館では4月1日からこのようにやりますという張り紙が出ている。だから、もうこの場で報告されても今更どうにもならないということである。

【滝澤センター長】

協議の途中だが、一点事務局からお願いである。今施設経営管理室から五智歴史の里会館に休館日についてお話をさせていただいているが、話の内容が五智歴史の里協議会の内部の話になっている。今日はそのような協議をする場ではない。該当施設の休館日について協議を行っていただきたい。

【水澤委員】

今回の休館日については五智歴史の里協議会の協議を受けて市がそれを承認したということになっている。ここが一番大事なのではないか。私はそう思っているので、よろしくお願ひしたい。

【青山恭造会長】

水澤委員の話は、市として指定管理者をよく指導してほしいという意味だと思うが、その辺はどうか。

【施設経営管理室：丸田副室長】

指定管理者を指導という点では、間違いなく私どもの責任だと思う。先ほど申し上げたが、今日あった協議会に対する意見的なものは、私どもで伝える場面を作っていきたいと思っている。

【増田副会長】

最初に、施設の目的は何だというお尋ねがあったが、それにお答えがなかったような気がするので教えていただきたい。

【施設経営管理室：丸田副室長】

条例上の目的になってしまうが、五智地区の豊かな自然及び歴史に触れる憩いの場並びに地域における市民活動の場を提供するとともに、市の観光情報等を広く紹介して地域の活性化及び観光の振興を図ることを目的に設立されたものである。

【増田副会長】

ある意味、観光施設という捉え方をしてもよろしいというふうに思う。それにも関わらず月曜日休みだとか、午後6時でなく午後5時に終わるということについては、観光に来られる人に対する配慮についてはどのようにお考えなのか。

他の施設も順次そういうふうに考えているというお話があったが、具体的に施設経営管理室で管理している施設がいくつあって、今後どのようなようになるのか。その辺の方向と観光客に対する配慮、それから地元の人に対する配慮。地元の人が会館を非常によく使っているの、そこに対する配慮をこの変更によってどういうふうに考えていらっしゃる

るのかをお聞かせ願いたい。

そして、説明内に午後5時から午後6時の利用者の話あったが、月曜日の利用者の話はなかったので、月曜日に何人ぐらい利用されているかも聞かせていただきたい。

【施設経営管理室：丸田副室長】

まず月曜日の利用についてだが、実は利用者が多い。冒頭でもお話したように定期利用団体があり、割合で言えば他の曜日のほうが少ない。だが、五智歴史の里協議会の決められたということもあるので、そこを私どもで指摘することではないので五智歴史の里協議会からの協議書の通りと判断したところである。

次に他の施設の休館日だが、例えば温浴施設で私どもが管理している施設については週1回の休館日を設けている。

そして、観光施設というわけではないが、例えば道の駅等についても休館日があり、直江津駅や高田駅の観光案内所も休館日がある。来訪者への配慮というのはどこまでかというのがあるが、今まで休館日を設けていなかったものを設けるということについて、或いは時間を短縮するというについても自然な流れなのではないかと考え判断をさせていただいた。

【増田副会長】

私はいろいろなところへ観光に行くが、民間施設は平日休むというところはなく、夏場は遅くまで営業しているところも多々ある。そういう現状の中で上越市に行ったら、月曜日、観光施設はどこも休みで、夏場でも午後5時になると閉まるとなると、上越の観光に対する考え方がそれで良いのか。そこら辺はしっかりと捉えていただきたい。

そして、先ほどから五智歴史の里協議会から言われたと言っているが、そうではなく、観光政策としてどうあるべきかということがないと、指定管理者に言われるままに変えていたのでは問題だと思うので、その辺もしっかりと認識をしていただきたい。

それからもう一つは、私は最初の地域協議会委員だったが、当時、五智歴史の里会館を指定管理にして良いかどうかの諮問があった。その際、今いろいろな委員がおっしゃられたような心配事がどんどん上がってきて、その後、地域協議会に報告してもらった時も悪い評判を聞いたことがあった。そのようなことが何人かの委員の皆さんの頭の中にあるから心配しているのだと思う。指定管理として指導していきますという話もあったが、いろいろなところに目を向けてしっかりと指導して欲しいということはしっかり申し上げておきたいと思っている。

実際問題、私のところにもいろいろな風評が聞こえてきている。例えば定期的に利用している人と言っていたが、そこへ観光客が来た時、定期的に利用されている人は地元の人だが、観光客が肩身の狭い思いをすることが度々あるということも聞いている。そこは、指定管理者の皆さんに、あなたたちの考え方はどうなのかということのを正す場面があっても良いと思っているので留意しながらやっていただきたい。

最後だが、休館日と時間短縮に関して、やはり観光客に「上越市は丁寧にいろいろ説明してくれた。気を使っている。不便は感じたけどきちんと説明があるね」というふうに思っただけのように、きちんと説明をする必要があると思っているので、そこら辺もぜひ配慮していただきたい。

【施設経営管理室：丸田副室長】

承知した。

【青山恭造会長】

ほかに意見等がないので、報告事項については終了とする。

— 施設経営管理室 退室 —

次に【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局へ説明を求める。

【小池係長】

・資料No.2「地域の課題について」に基づき説明

【青山恭造会長】

それでは「雁木通りの通路の段差が危ない」についてから意見交換を始めたいと思う。

何かあるか。

【増田副会長】

課題の「環境」に関しては、「海水浴場の問題」、「ロープが張られている」、「河川敷にごみの不法投棄がある」という問題は、いずれも行政の担当課と意見交換をしなければいけないと思っているので、次の委員の人に引き継いだらどうかと思う。その他の「府中八幡宮の池を綺麗にしたい」というのは、まず、町内会で話をしていただいたほうが良いのではないかな。

【青山恭造会長】

今の意見について、次期委員へ引き継ぐということだが、皆さんはどうか。

【田村委員】

「府中八幡宮の池を綺麗にしたい」という意見については地域活動支援事業で提案し

てほしいと回答したような気がする。

【青山恭造会長】

池を綺麗にしたいというのは水の事を言っているのか、周りの景観も含めたことを言っているのか。

【田村委員】

地元の町内会長は水が入らないから池が濁っているため、泥を出して綺麗にしたいと言っていた。

【青山恭造会長】

泥を出すと、その後も継続してやらなければならない。

【田村委員】

継続して行うとは思う。私は地域活動支援事業に提案していただければ地域協議会内で協議し、採択されれば資金は出せるというお話をさせていただいた。

【青山恭造会長】

次に「海浜公園に時計がなく不便である」については、昔は海浜公園に時計があったのだが、整備した際になくなってしまった。この意見についても地域活動支援事業で提案していただくということでどうか。

(異議なし)

では「環境」については、次期委員への引継ぎ事項とさせていただく。

次に「観光」についてはどうか。

【磯田委員】

資料にある文言は町内会長とのやりとりの中で出てきた。一町内会長の意見、或いは地域の意見かもしれないが、これを一つ一つ我々が精査していく必要はないと思う。それこそ直江津まちづくり構想、或いは自主的審議の中で本来あるべき議論を我々はやっていったほうが良いと思うし、一つ一つの具体的な話を解決していく場なのかはずっと疑問に思っているところなので、実質的な審議のあり方も含めて次年度の委員の方々に申し送りしていったほうが良いのではないかと考えている。これにずっととらわれていると議論が膨らんでいかず、成熟していかないのではないかと考えている。

【青山恭造会長】

直江津まちづくり構想は永遠のテーマであり、環境が変わった時にまたいろいろな問題が出てくると思うので、常に我々が直江津を良くしたいという気持ちでいれば自然と

まだ話が盛り上がってくるのではないかと考えている。

次に、「その他」について事務局へ説明を求める。

【小池係長】

- ・次回協議会：3月17日（火）午後6時から

【青山恭造会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。